

令和6年4月

魚津市定例記者会見



日時：令和6年4月1日(月) 午後1時30分～午後1時50分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社

KNB、NHK、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1. 魚津市 GIS データの公開(情報広報課)

市が所有・収集したデータを公開するサイトである IoT プラットフォームに魚津市の統合型 GIS (地理情報システム) のデータを 3 月 29 日に一部公開。市道網やハザードマップ等を IoT プラットフォームで確認できるようになった (津波ハザードマップ、市道網図を例示し、使い方を市長から説明)。各分野の情報や本市が既に設置しているセンサーやカメラの情報もあわせて、網羅的に閲覧することが可能。利用者のニーズに合わせて、幅広く活用していただきたい。

2. 魚津市飲食店デジタルマップの公開(商工観光課)

駅前には多くの飲食店や宿泊施設があり、そういった観光インフラを活かしながら「食泊連携事業」を進めてきている。今回はその事業のひとつとして、『魚津駅前飲食店マップ』を制作していたが、より正確な情報発信と行動データの収集を図るため、(公社)とやま観光推進機構と連携し、新たに『魚津市飲食店デジタルマップ』を制作し、3月14日から公開している。観光協会のトップページに掲載しており飲食店などの店舗情報を見ることができ、道順も確認できる。行動データの収集については、閲覧数の把握、移動履歴などがわかるため、活用先についてもブラッシュアップしていく。

【質疑応答の内容】

○「地方鉄道の運営形態の変更」について

《記者からの質問》

地方鉄道の運営形態の変更に向けた協議が始まるが、魚津市として地方鉄道のあり方や目指す方向性等について考えをお聞きしたい。

《回答》（市長）

現在は担当ベースでの勉強会をやっている段階だと聴いている。その中で地鉄さんの方で、輸送密度や施設の補修等について勘案しながら議論を進めておられる。地鉄の路線は性格が様々であり、観光、生活路線、並行区間の有無など、論点はたくさんあると考えている。魚津は平行区間をかかえており、かつ地鉄とあいの風の分岐点にもなる。そういった視点で、今回の協議では広いあり方を議論していきたいと考えている。

○「職員の名札」について

《記者からの質問》

職員の名札の表記が変更になって3か月になるが、職員や市民から市長へ意見などは届いているか。入善や滑川も変更すると聞いている。県内でも広がりが見られることについて見解をお聞きしたい。

《回答》（市長）

名字だけでひらがな表記にした。お声はまだお聴きはしていない。県内での状況についても把握はしていないが、今回の取組みは、職員のプライバシーの問題があった自治体の事例を受けて開始した。県内の自治体でもおそらく、同様の背景があったのではないかと考える。